

近木川干潟再生地で記録されたカワアイ

山田浩二（貝塚市立自然遊学館）・和田太一（NPO 法人南港ウェットランドグループ）

近木川河口の右岸に 2012 年に造成された干潟再生地（通称：汽水ワンド）では、その後の干潟の形成状況や生物相の把握について 2018 年度までの期間、大阪府より委託を受け定期的なモニタリング調査を行ってきた。この期間において干潟再生地で確認された軟体動物門は腹足綱 30 種、二枚貝綱 16 種であったが（山田ほか、2022）、今回新たに腹足綱キバウミニナ科のカワアイ *Pirenella pupiformis* Ozawa & Reid in Reid & Ozawa, 2016 が見つかったので報告する。

カワアイは大きくなると殻長 4cm になる細長い円錐形の巻貝で、各螺層の膨らみは弱くほとんど直線的である。貝殻は焦げ茶色、格子目状の彫刻があり、殻口の水管部の張り出しはやや弱い。大阪府の過去の記録では、石田ほか（2014）で樽井産標本 1958 年採集（梶山彦太郎コレクション）があるが、その後の確認が途絶えたことにより大阪府レッドリスト（2014）では絶滅と評価されていた。しかし近年になって 2017 年に男里川河口右岸、2020 年に岬町多奈川谷川古港の記録が報告された（大古場、2020）。

2021 年 5 月 29 日、近木川干潟再生地の底生生物調査を行った際、潮間帯の泥地表面で 1 個体のカワアイを見つけ採集した（図 1）。さらに翌年、2022 年 5 月 4 日の同地点における底生生物調査で 1 個体が見つかった（図 2）。採集した個体のそれぞれのサイズを表 1 に記す。なお、これらの標本は貝塚市立自然遊学館の登録標本として所蔵されている（KCMN-Mo840・Mo1067）。

本種は環境省のレッドリストでは絶滅の危険が増大している種として、絶滅危惧Ⅱ類（VU）に評価されている。近隣の産地としては紀伊水道沿岸の和歌山県および徳島県で記録がある。和歌山県では和歌山市から串本町まで県内全域に見られた種であるが、近年、紀ノ川、有田川からの記録はなく、2000 年以降は和歌山県日高川河口南岸側溝、御坊市北塩屋から確認されているに過ぎないとされ、絶滅危惧Ⅱ類（VU）に評価されている（江川、2022）。徳島県では吉野川感潮域の徳島市上助任町～東吉野町および徳島市勝浦川河口に生息しているが（和田ほか、1996；山西ほか、2000；大谷ほか、2011）、生息個体数が少なく、生息環境の悪化により減少傾

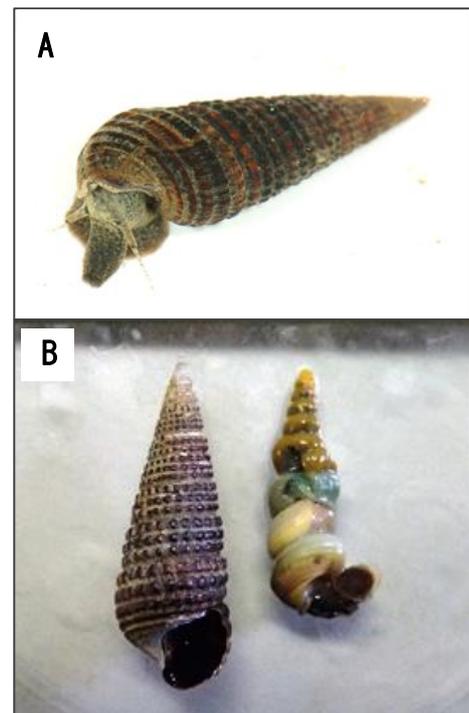


図 1. カワアイ
（近木川干潟再生地 2021 年 5 月 29 日採集）
A：生時の様子
B：殻から取り出した軟体部とともに撮影。



図 2. カワアイ
（近木川干潟再生地 2022 年 5 月 4 日採集）

向にあると思われるとして絶滅危惧Ⅱ類（VU）と評価されている（徳島県、2013）。また、兵庫県の加古川や大津川の汽水域においては量産状況にあるように西日本や南西諸島での量産地はそれなりに存在するが、関東～中部地方では生息地が極限的あるいは生息が危機状態にある（阪神貝類談話会、2020）。

本種は内湾奥部の泥質干潟に生息する種で（木村・福田、2012）、以上のように大阪湾や周辺海域では本種が生息できるような泥質干潟が少なく、生息基盤は脆弱であると考えられる。近木川干潟再生地での産出記録は貴重で、今後も継続して生息が確認されて個体群として定着するのかが注目される。

表1. 近木川干潟再生地で採集されたカワアイの計測値

採集日	殻長	殻幅	登録番号
2021年5月29日	30.0mm	9.8mm	Mo840
2022年5月4日	35.1mm	13.0mm	Mo1067

引用文献

- 江川和文（2022）カワアイ．In 和歌山県環境生活部環境政策局（編），保全上重要なわかやまの自然－和歌山県レッドデータブック，315pp．和歌山県環境生活部環境政策局，和歌山．
- 阪神貝類談話会（2020）かいなかま，No.54：表紙解説．
- 石田 惣・山田浩二・山西良平・和田太一・渡部哲也（2014）自然史研究 3（15）：237-271．
- 木村昭一・福田宏（2012）カワアイ．In 日本ベントス学会（編）干潟の絶滅危惧動物図鑑－海岸ベントスのレッドデータブック，30．東海大学出版会，秦野．
- 大古場 正（2020）大阪府で産出した注目すべき干潟の貝類Ⅰ．自然遊学館だより，No.96：2-3．
- 大阪府（2014）「大阪府レッドリスト 2014」、48pp．
- 大谷壮介・上月康則・山中亮一（2011）徳島県勝浦川河口干潟におけるヘナタリの分布特性と個体群動態．土木学会論文集 B3（海洋開発），67（2）：487-492．
- 徳島県（2013）徳島県レッドリスト 6．その他の無脊椎動物＜改訂：平成 25 年＞．
- 山西良平・石井久夫・有山啓之（2000）四国吉野川感潮域の底生生物－友の会観察会の記録－（2）．Nature Study, 46（7）：3-4．
- 和田恵次・西平守孝・風呂田利夫・野島 哲・山西良平・西川輝昭・五嶋聖治・鈴木孝男・加藤 真・島村賢正・福田 宏（1996）日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状．WWF Japan Science Report, 3：1-182．